



なかくびきん  
今月の一枚「新潟県中頸城郡板倉町 関田峠 ススキ」

暑さももう一息。体調はいかがですか？

虫の声が心地よく感じられる季節を迎えます。

朝晩はだいぶ涼しくなってきましたが、体調など崩していませんか？今年の夏は記録的な猛暑となりましたがあともうひと頑張りです。

## INDEX

- 表紙「今月の一枚」
- 2013オリジナルデザインカレンダー
- どっちが正しいの？！
- 大成印刷 制作部紹介 その1
- 視覚効果のお話し

### 今月のひとこと

天高く馬肥ゆる秋、貴社ますますご繁盛のほどお喜び存じます。いづれも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

## オリジナルデザインカレンダー

# 貴社のアピールのための一押しツール 2013年オリジナルデザインカレンダーの サンプルが出来上がりました。

ぜひご利用ください!!

Original Design Calendar 2013

サンプルデザイン一部ご紹介

T

「タイプ」を選ぶ  
Type select



D

「デザイン」をする  
Design



S

「小ロット対応」10部~OK!  
Small lot OK!



T 4種類の中から好きな「タイプ」を選んでいただきます。

- Type-A: 紙ケース式卓上カレンダー (レギュラータイプ)
- Type-B: 紙リング式卓上カレンダー
- Type-C: ポケットカレンダー
- Type-D: A3壁掛けミシン目入りカレンダー

※サイズ・その他製品内容はパンフレットをご覧ください。

S 小ロットでもOKです。お客様の立場にたった対応をいたします。

●お気軽にご相談ください。



MUD カレンダーもご紹介します。

### メディアユニバーサルデザイン

利用する方々の側に立ち、必要とされる情報を分かりやすく伝えることを目的とし、「デザイン」「文字の使い方」「色の使い方」などに様々な配慮や工夫を加えようという考え方です。

D

決めていただいたタイプで「表紙」「ヘッダー」に写真等を入れデザインいたします。

- 写真 ●イラスト ●文章 等



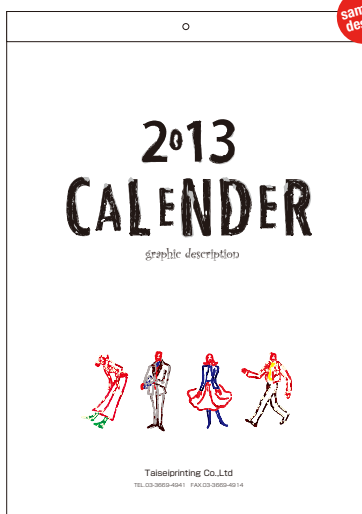
紙ケース式卓上カレンダー(レギュラー)



(分別廃棄不要)紙リング式卓上カレンダー



ポケットカレンダー



A3壁掛けミシン目入りカレンダー

※パンフレット・サンプルのご請求は弊社営業担当までご連絡ください。

お問い合わせは

大成印刷株式会社

http://www.taisei-printing.co.jp/

TEL.03-3669-4941 FAX.03-3669-4914

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-10

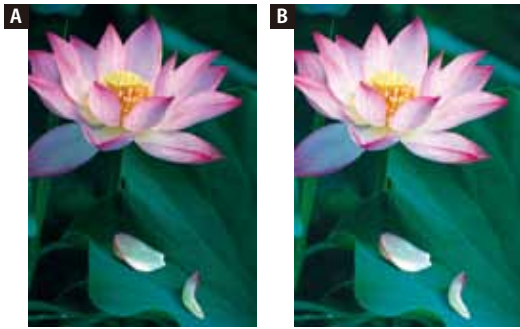
茅場町 大成印刷 |

検索

どっちが正しいの?!

# この2つの写真の色・文字レイアウトどっちが正しいの?!

あなたは次のAB2つの写真の色・文字レイアウトのバランス、どちらが正しいと思いますか?



解説



実はABどちらも正解です。なぜならば、人の色の好みや文字バランスの感じ方は個人個人違います。まず写真の方ですが、Aは少し暗いかなと思う人がいれば、深みがあって良いと思う人もいます。Bは全体が明るくて良いと思う人もいれば、ハイライト部分が少しとんでいて深みがないと思う人もいます。文字レイアウトも同様です。Aは上下の文字の長さが揃っていてまとまって見えると感じる人がいれば、Bは下の文字が大きく上の文字が小さく強弱がついて良いと感じる人もいます。商業デザインではお客様が見て良いと思った写真の色・文字レイアウトのバランスが正解なのです。大成印刷は常にお客様の要望にお応えして制作させていただいています。

## 大成印刷 制作部紹介 その1

**制作部は8人のメンバーが大成ビルの2階で毎日頑張っています。デザイン・組版DTP・出力が主な仕事です。今回は出力を主に紹介させていただきます。**

時代の変化や各機種の進歩を一番感じられる部署でもあります。

活版印刷から印画紙・フィルム出力を経て、現在では、Kodak Magnus400プレートセッターで当社印刷物のCTP版を100%出力しています。340線の高精細も出力可能仕様になっています。

プレートはBLUE EARTH使用により、ケミカルレスCTPシステム\*です。

GPマークやクリオネマークもこのシステムにより、認証されることが出来ました。

オンデマンドはモノクロがXEROXの4112。カラーがKONICA MINOLTAのC7000です。

少部数、短納期作業には欠かせない出力機となっています。

3年先、5年先の印刷業界の進歩。どこまでいくのか楽しみです。



XEROX 4112



KONICA MINOLTA C7000



### \*ケミカルレスCTPシステム

従来のサーマルポジシステムに対して総廃液量が大幅に少なく、アルカリ現像液を使用しないため、環境にもオベレーターにも優しいシステムです。

**印刷の事でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。**

## 視覚効果のお話し

### プレゼンテーション戦法

**みなさんはプレゼンテーションをするときにどんなビジュアル・ツールを使っていますか?**

今ではパワーポイントなどのプレゼンテーション・ソフトが簡単に使えるので、プロジェクターを使った(一昔前でいうプロ並みの)すばらしい視覚効果を誰でも実現できるようになりました。近頃では、ipadをビジネスツールとして活用している人も多いのではないのでしょうか。しかし、今では誰もが同じようなプレゼンテーション・ソフトを使っているわけですから、そうはいきません。企画提案時のコンペだとすれば、あなたのライバルも同じようなプレゼンテーション・ツールを使っているのです。独自性の強い提案を行っていたとしても、同じソフトでしかも同じく添付されているイラストなどを用いると、印象は逆にマイナスの方向に向かうとも限りません。視覚効果をうまく利用して説明をする事がなぜ大事なのか…。視覚効果を使う場合とそうでない場合を比べると、その差は43%違うそうです(ミネソタ大発表資料)。ビジュアルをうまく利用することによって、受け手の理解を助け、興味・注目を集め、短時間で多くの情報を伝達できる。しかも記憶に残る割合を大きくできるそうです。“視覚効果をうまく利用する”というのは、なにも資料だけの話ではありません。発表者の身ぶり手ぶり…いわゆるボディランゲージも大事な要素です。米国カリフォルニア大学の心理学者アルバート・メラビアン教授の実験では、コミュニケーションを構成する3つの要素<1>言葉(なにを言うか)<2>話し方(声の調子、高低、音色等)<3>ボディランゲージ(態度、姿勢、身ぶり、手ぶり、顔つき、外見、視線、服装など)の中で、言葉以外つまり非言語コミュニケーションの果たす役割が全体の92%であると発表しています。つまり、プレゼンテーションの方法もこういった観点から考え直す必要があるわけです。日本人は特にこのボディランゲージが不得意といわれています。主要国首脳会議(サミット)を見ても、日本のトップと世界のトップではボディランゲージ・スキルの差がはっきりとわかります。外国では子供のころからプレゼンテーションをする機会が多く、自然と訓練されているんですね。



**body language**